

- ・ 格交替現象と格の存在理由
- ・ 言語発達と心の理論の発達
- ・ 日本手話の文末指さしに関する統語的研究

- Case alternations. Why do Cases/cases exist?
- The relationship between the development of language and theory of mind.
- The clause-final finger pointing in Japanese Sign Language.

障害者高等教育研究支援センター・准教授

小林 ゆきの

キーワード

言語機能、格、ミニマリスト・プログラム、心の理論、日本手話

研究概要

人間の言語機能の解明を目的として、現在、下記の3つの研究テーマに取り組んでいます。

(1) 格交替現象と格の存在理由：

人間の音声言語に広く見られる格とその交替現象、それらの仕組みの解明に取り組んでいます。また、なぜそもそも人間の音声言語に格が存在するのか、という問いに対し、ミニマリスト・プログラムに基づく言語理論でどのような解が可能かを探求しています。

(2) 言語発達と心の理論の発達：

一般に、相手の心の状態を推測する能力である「心の理論 (theory of mind)」は4, 5歳まで獲得されないとされていますが、「心の理論」が獲得されないうちは、相手の心の状態を推測しているような言語表現は獲得されていないのでしょうか。ここでは、言語発達と心の理論の発達の関係を明らかにするために、音韻・統語の両側面から研究を進めています。

(3) 日本手話の文末指さしに関する統語的研究：

自然言語である日本手話には、文末に任意の指差しが現れます。アメリカ手話では文末指差しは主語を指すと言われ、オランダ手話では文頭の話題要素を指すと言われています。果たして日本手話の文末指差しは何を指すのでしょうか。本研究では統語理論に基づき、その本質解明に取り組んでいます。

応用例・用途

- ・ 言語障害者に対する診断・リハビリテーションへの貢献の可能性
- ・ 自閉症患者のコミュニケーションサポートへの貢献の可能性
- ・ 日本手話及び聾文化に対する理解を深めることに貢献する可能性



国立大学法人 筑波技術大学 学術・研究委員会

【問い合わせ先】

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15 大学戦略課 企画戦略係

TEL : 029-858-9339 FAX : 029-858-9312 E-MAIL : kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp